

平成30年7月（第9回）教育委員会会議議事録

1. 開催の日時及び場所

平成30年7月27日（金）16:30～19:00

宇部市港町庁舎 3階会議室

2. 出席委員の氏名

野口 政吾 教育長

田村賢二郎 委員

山野あい子 委員

川崎 裕美 委員

3. その他議場に出席した者

床本総務課長、網本学校教育課長、三原学校教育課長同格、小林総務課副課長

4. 傍聴者 なし

5. 趣 旨

教 育 長： ただいまから、平成30年7月27日の第9回教育委員会会議を開催いたします。

本日は、三原委員欠席の報告がありましたが、出席委員が過半数となっていますので、会議として成立していることを最初に報告します。

教 育 長： 次に、本日の会議録署名委員の指名についてですが、本日の会議録署名人は山野委員にお願いします。

教 育 長： 本日の議題は、「議案第25号 宇部市立小学校及び中学校道徳教科書採択について」の1件となっておりますが、事務局から緊急の提案があるとのことですので、説明をお願いします。

事 務 局： 三原委員から、9月30日をもって教育委員を辞職したいとの辞職願が提出されました。教育委員の辞職につきましては、地教行法第10条の規定により、市長及び教育委員会の同意を得て辞職することができるとなっておりますので、突然ではありますが、三原委員の辞職について、審議をお願いします。

教 育 長： 事務局から、三原委員の辞職願が提出されたとの報告がありました。
ご本人からは、健康上の理由で職務の遂行が困難になったと聞いています。
この件について、本人の健康が第一でありますので、辞職を承認するという
ことよろしいでしょうか。

（全委員異議なし）

教 育 長： それでは、三原委員の辞職について承認します。

教 育 長： 次に、「議案第25号 宇部市立小学校及び中学校道徳教科書採択について」事務局から説明をお願いします。

事 務 局： それでは、会議の進め方としましては、種目ごとの教科書について、前回の教科書選定委員会における報告、協議を踏まえて、この場における十分な審議をとおして、採択する教科書を決定していただくこととなります。御審議いただく種目の順番としては、お手元の要綱に示してある順番でお願いします。この後の進行は教育長にお願いします。

教 育 長： それでは、小学校国語から始めたいと思います。

教 育 長： 新しい学習指導要領も含めて、言語活動の充実が叫ばれているということで、言葉の力をつけるという視点で考えると、一番内容が即しているのは光村図書出版であったと思います。言葉の力の中で、特に書くこと、読むこと、これらをしっかりと身に付けることができるような内容になっているということで、光村図書出版が良いと思います。

委 員： 私も光村図書出版が良いと思います。東京書籍もバランスが良く、書くことの力も入っていて、教材としても魅力があるものが多くあり、素晴らしいと思います。光村図書出版を長く使っていて、教員も子どもたちも読み込んでいるという面があり、光村図書出版をもう1年使用する方が良いと思います。

委 員： 学んだことがすぐ生活に結び付くということが、学ぶ上で大切だと思うので、他教科へのつながりがある光村図書出版が良いと思いました。

委 員： 学び合いを意識したところも、光村図書出版にはあったと思いますので、本市の教育方針に合致しているので、光村図書出版が良いと思います。

教 育 長： その他よろしいでしょうか。

教 育 長： 皆さんから、光村図書出版が良いという意見がありました。東京書籍が良いという意見もありましたが、光村図書出版を採択するということがよろしいでしょうか。

(全員異議なし)

教 育 長： それでは、小学校国語は、光村図書出版を採択ということで決定します。

教 育 長： 次に、小学校書写について御意見をお願いします。

委 員： 国語が光村図書出版ということで、書写も光村図書出版にする方が、教科書の連動ができ使いやすと思うので、光村図書出版が良いと思います。

委 員： 私も同様の意見です。

教 育 長： 国語と書写の教科書が連動していないと、子どもたちの混乱を招く恐れもありますし、学習をより効果的に進めるためには、光村図書出版が良いという意見でしたが、書写も光村図書出版ということでよろしいでしょうか。

(全員異議なし)

教 育 長： それでは、小学校書写は光村図書出版を採択ということで決定します。

教 育 長： 次に、小学校社会科について御意見をお願いします。

教 育 長： 一番の重点は、問題解決型学習をどう仕組むかというところにあると思います。その点では、東京書籍と日本文教出版が、問題解決に特に重点を置いていると思います。そこで双方を比較すると、単元構成、学習課題や目あて、学び方等が顕著にある東京書籍がふさわしいと思います。

委 員： 私も東京書籍が良いと思います。

教 育 長： ほかにありませんか。

教 育 長： それでは、東京書籍を採択するということがよろしいでしょうか。

(全員異議なし)

教 育 長： それでは、小学校社会科は東京書籍を採択ということで決定します。

教 育 長： 次に、小学校地図について御意見をお願いします。

委員： 帝国書院の地図が、教科書に沿っているかどうかではなく、地図として、様々な活用するうえで、大変良くできているという意見を聞きましたが、そのあたりの補足ができればお願いします。

事務局： 帝国書院の地図帳が、中学校、高校で、一番多く採用されているということはありません。

委員： 社会科の教科書と地図の会社が違っても、影響はないのでしょうか。

事務局： 特に支障はないと思います。

委員： それであれば、帝国書院が良いと思います。

委員： 中学校の採択の際も、帝国書院と東京書籍の比較だったと思いますが、地図として帝国書院の方が良いということになりましたが、今回、東京書籍の方が少し大きいので、見やすいと思いました。ページ数も多いということで情報量も多いと思いますが、実績等考慮すると、帝国書院がわずかに良いかなと思います。

教育長： 東京書籍も見やすい等の意見がありましたが、最終的に、帝国書院を推す意見が多いと思いますので、地図は帝国書院を採用するというところでよろしいでしょうか。

(全員異議なし)

教育長： それでは、小学校地図は帝国書院を採択するというで決定します。

教育長： 次に、小学校算数について御意見をお願いします。

委員： 啓林館のわくわく算数は、主体的な学びを尊重しているということもあり、学び合いをするときに、やりやすいよう構成されていると思います。

委員： 勉強するのは学校だけではなく、家庭で学習する際に、自ら考えてできるように、また、躓いたときのための様々なキャプションが横についており、そうしたことが家庭学習に取り組むうえで役立つので、啓林館が良いと思います。

教育長： 算数では、基礎基本と活用が重視されており、活用という点で比較すると、啓林館には、学びを活かそうというコーナーが設けられており、学んだことを実社会でどう活用するのかという点を踏まえて、啓林館が良いと思います。

教育長： ほかにありませんか。

教育長： それでは、啓林館を推す意見が多かったと思いますが、小学校算数は、啓林館を採択するとしてよろしいですか。

(全員異議なし)

教育長： それでは、小学校算数は啓林館を採択するというで決定します。

教育長： 次に、小学校理科について御意見をお願いします。

教育長： 啓林館は合冊構成で、わくわく理科とわくわく理科プラスとなっています。これは現在使用中で、現場でも有効に活用されていると考えており、啓林館が良いと思います。

委員： 理科は、実生活と結び付けて考えることが多いと思いますので、実生活の中で、理科の学習の有用性を感じられるような構成となっている啓林館が良いと思います。

教育長： ほかにありませんか。

教 育 長： それでは、啓林館を推す意見が多かったと思いますが、小学校理科は、啓林館を採択するとしてよろしいですか。

(全員異議なし)

教 育 長： それでは、小学校理科は啓林館を採択するという事で決定します。

教 育 長： 次に、小学校生活について御意見をお願いします。

委 員： 今回、色々比較しながら読みましたが、光村図書出版が大変シンプルで、子どもたちが自分で考えて、解決していくところが良いと思いました。現行の大日本図書の楽しい生活では、たくさんのことが盛り込まれていて、その中から選択して、実施するというふうに感じました。

教 育 長： 生活という教科は、教科書を見て学習するのではなく、外に出て、体験活動をして、それをもとに自分の感想をまとめたり、友達と意見を交換するという教科ですので、まず体験活動したことをもとに教科書を振り返って、こういう見方もあるという、多様な考え方に触れることができる大日本図書が良いと思います。

委 員： 現状が、理科が啓林館で、生活が大日本図書となっていますが、連動性については必要ないのでしょうか。

事 務 局： あまり意識していません。

委 員： 同じ教科書会社の方が良いのかなと思う点もありますが、前回は採択された大日本図書で良いと思います。

教 育 長： ほかにありませんか。

教 育 長： それでは、光村図書出版も分かりやすいという意見もありましたが、大日本図書が多様な体験活動が掲載されており、子どもたちにとってどの地域に住んでいても対応できるということも踏まえて、小学校生活は大日本図書を採択するとしてよろしいですか。

(全員異議なし)

教 育 長： それでは、小学校生活は大日本図書を採択するという事で決定します。

教 育 長： 次に、小学校音楽について御意見をお願いします。

教 育 長： 教育芸術社の良いところは、量に力点を置くのではなく、系統的、段階的に子どもたちの発達段階に応じて、順序立てて、力をつけていくということが分かりやすいと思います。また、教育芸術社の方が、日本音楽に関する題材を設定し、我が国の音楽に親しむという点も優れているという点も示されているので、教育芸術社が良いと思います。

教 育 長： ほかにありませんか。

教 育 長： それでは、小学校音楽は、教育芸術社を採択するとしてよろしいですか。

(全員異議なし)

教 育 長： それでは、小学校音楽は教育芸術社を採択するという事で決定します。

教 育 長： 次に、小学校図画工作について御意見をお願いします。

教 育 長： 図画工作は、小学校の多くの教員が、なかなかきちんと教えられていないと感じています。日本文教出版の教科書では、教員にとって使いやすく、子どもたちにとっても、意図を教員が教えて子どもたちがそれを感じることができる

点が良いと思います。

委員： 日本文教出版には学習の目あてが記載されていて、開隆堂の方では、教科書の下欄にまとめが記載されていました。

教育長： 小学校の教員にとって、子どもたちがしっかりした目あてを持って、作ったり書いたりし始めないと、単に作品作りということになって授業が充実しないということは考慮すると、日本文教出版が良いと思います。

委員： 宇部市が力を入れている彫刻教育を意識した教科書選択をしなければならぬと思いますが、これといった決め手がなく、難しい選択になっています。外で見たことを、芸術と結びつけて考えるといったことが日本文教出版にはあったと思いますので、芸術的な感じ方の広がりには、日本文教出版があったと思います。

教育長： ほかにありませんか。

教育長： それでは、日本文教出版を推す意見が多かったと思いますが、小学校図画工作は、日本文教出版を採択するとしてよろしいですか。

(全員異議なし)

教育長： それでは、小学校図画工作は日本文教出版を採択するという事で決定します。

教育長： 次に、小学校家庭について御意見をお願いします。

委員： 開隆堂の方が、安全予防、家庭教育の点がいずれもしっかり記載されていたという点で良いと思います。

委員： 開隆堂が、体験、実践をとおして、できることを増やしていこうというところに力を入れていることが、子どもたちにとって大変良いことだと思います。

教育長： ほかにありませんか。

教育長： それでは、開隆堂を推す意見が多かったと思いますが、小学校家庭は、開隆堂を採択するとしてよろしいですか。

(全員異議なし)

教育長： それでは、小学校家庭は開隆堂を採択するという事で決定します。

教育長： 次に、小学校保健について御意見をお願いします。

教育長： 保健と体育は、同じ体育という教科の中で扱われるということで連動していた方が良いと思います。小学校では、文教社が出版している体育の副読本を県内全ての学校が使用しており、文教社が良いと思います。

委員： 文教社は高松が本社というところが良いと思いますが、健康教育という観点から、全社少ないと感じています。

教育長： ほかにありませんか。

教育長： それでは、文教社を推す意見が多かったと思いますが、小学校保健は、文教社を採択するとしてよろしいですか。

(全員異議なし)

教育長： それでは、小学校保健は文教社を採択するという事で決定します。

教育長： 以上で小学校の教科書採択は終了しました。

次に、中学校道徳について御意見をお願いします。

委員： 全社の教科書を読んで、心が洗われるような思いになりましたが、LGBTに関して記載があるのは、学校図書と日本教科書の2社で、全社で取り上げるべきだと思いました。全体的に、内容として郷土を愛する話はありませんでしたが、日本の素晴らしさについては、物足りない気がしました。伝統や文化には触れられていますが、日本に生まれてよかったと感じられるような、海外から見た日本の評価などがあれば、説得力が増すのではないかと思います。

委員： 廣済堂あかつきが、心に沁みる教材が多いと感じました。別冊のノートが、中学生なら対応できるのではないかと感じて魅力を感じましたが、道徳の時間だけで話し合いまで含めてできるかということ、難しいのではないかと感じました。日本文教出版が、いじめに対して全学年を通じて分かりやすくなっています。日本文教出版にも道徳ノートがついていますが、小学校の選定の際は、ノートがない方がよいと思いました。中学校ではどうなのか考えています。東京書籍は、教員が指導しやすいのではないかと思います。ノートはありませんが、いじめや情報モラルについても記載されていて、ノート無しを選ぶのであれば、東京書籍もあるかもしれません。日本文教出版がよいと思います。

委員： 学研は、絵がそぐわないように感じました。宇部市の学校では、学び合いのある授業も進んでいて、必要ないかもしれませんが、どの教科書も学び合いの進め方が記載されていて、特に、日本文教出版や東京書籍が見やすいように思いました。課題が設定されていて、子どもたちが何について考えれば良いか、明確になっていると思います。光村図書出版は、国語の教科書の読み物のようで、議論するには難しいのではないかと思います。東京書籍は、写真が多く、現実味もあって、読みやすく親しみやすい教科書だと感じました。道徳ノートがある日本文教出版も、自分で振り返りやすく良いと思います。

教育長： 日本文教出版の別冊ノートは、これだけきっちりとしたものが中学生に必要かということ、疑問に思います。もっと柔軟に授業を進めていけるのではないかと思います。いじめについて、日本文教出版、東京書籍が明確になっていると思います。命についてしっかり学べるという視点で見ると、どの会社の題材も良いのですが、日本文教出版、東京書籍が良いという印象を持ちました。

教育長： 参考に、道徳を中学校でどのように教えるのか事務局から説明をお願いします。

事務局： 教科になると様子が変わると思いますが、これまでは、子どもたちの実態や、クラスが抱えている問題等に対する教員の思いがあって、副読本の題材よりも、教員自身が教材を探してくることも多いと思います。同じ教員が道徳をずっと続けると、考え方に広がりを持たない場合もありますので、担任が別の学級を回る出前授業を取り入れています。ノートについては、これまで使わないことが多かったと思いますが、これから評価するにあたって、参考にすることも考えられますので、これからどう変化するのかは分かりません。

教育長： 教育出版は、とてもシンプルで、学びの道標がすべてに関わっているところが共感されていると思います。

教育長： 中学校では、ワークシートを作るのですか。

事務局：ほとんど作っています。

教育長：別冊ノートではなく、自分の学級の実態に即したワークシートを作って、進めていくということになりますか。

事務局：まず、教材を使って話をして、自分たちの学級について議論するという形になると思います。

委員：日本文教出版はノートがありますが、教科書の中での問いかけ等ありますので、それで行けるのではないかと思います。廣濟堂あかつきのノートは、大変ボリュームがあつて、細かすぎるように感じますので、もう少しざっくりとした感じにして、自分で見直しができれば良いのではないかと思います。

委員：現在は、中学校は廣濟堂あかつきを使っているのですか。

事務局：廣濟堂あかつきを使用しています。

委員：ノートに縛られるようになると、議論をして書き込んでとつて、時間内に終わることが難しくなると思います。

委員：力量がない教員にとっては、ノートがある方が良いでしょうか。

事務局：特に若い教員などでは、道德の授業の進め方の参考になると思います。

委員：教員による差が出にくくなると思います。

教育長：ここから絞り込んで行きたいと思いますが、委員の皆さんで2社まで絞り込んでいただけますか。

委員：東京書籍が、写真も多く現実味があつて身近なものに感じるということで良いと思います。日本文教出版は、読みやすい量で、親しみやすくてよいと思います。学校図書は、ボリュームが多すぎ、所々にある心の扉が少しくどいように感じました。

委員：私も東京書籍か日本文教出版が良いと思います。東京書籍は、教員が指導しやすく、いじめについても配慮されているところが良いと思います。日本文教出版は、いじめの問題が全学年通じてあるということと、指導がしやすいところが良いと思います。ノートについては、取扱いが学校現場の裁量でできるのか気になります。

委員：私は、教育出版が1番良く、学校図書が2番目に良いと思います。教育出版は、シンプルでありながら、必要なことは、しっかり記載されています。題材が、良いと思うものが1番多かったのが教育出版でした。学校図書は、読み終えた後に、プラスアルファの読み物があるところが、学びを深めているように思いました。日本文教出版は他分野に及んでいるように感じ、色々な方面から勉強できると思いました。

教育長：2社に絞るとすると、東京書籍と日本文教出版になります。内容については、どの社も素晴らしいと思うのですが、教員の指導しやすさや、子どもたちがあまり書き込むスペースが無い方が、良いのではないかと思います。その点、学校図書は、書き込む箇所が多く感じました。教育出版は、逆にシンプルすぎ、昔ながらの教科書のように思いますが、物足りないように感じました。決め手としては、いじめ問題に力点を置いているところで、東京書籍と日本文教出版になります。東京書籍のマイナス点としては、学びの振り返りで、学期のまと

めを一枚でさせるというのは、あまり役に立たないように思います。日本文教出版は、別冊のノートは不要なのかなと思います。日本文教出版は、デザインなどのセンスが良いと感じました。

委員： 自分としては、順位をつけると教育出版と学校図書が上に来たということで、ほかの教科書が悪いということではありません。今回採択される中学校道徳の教科書は何年使われるのですか。

事務局： 本来は4年間ですが、今回は、2年間になります。

委員： 道徳が教科になる最初の教科書なので、一番差がつきにくいということを考慮すると、日本文教出版のノートを使うことで、教員による差がつきにくくなると思います。2年間、ノートの取り扱いについて試行してみるということも、良いのではないかと思います。

委員： どの教科書の題材も素晴らしいのですが、学校で勉強するだけでは、道徳はだめだと思います。保護者も学ばなければならないことも多く、教科書を読んだ時にとっても考えさせられました。日本文教出版のノートに、保護者記入欄があって、書かないかもしれませんが、家庭でも一緒に考える機会を与えていただくのも良いと思いました。

委員： 今回、ノートのある教科書採択して、そのノートを使用して、現場から使いづらいなどの声があったとすると、次回の改定の際に、変更されるものなのでしょうか。

事務局： 教科書会社は、採択されなかった理由などを研究しますので、反映されるかもしれません。

委員： ノートの取り扱いについては、学校現場での裁量の余地がありますか。

事務局： ノートの扱いは、学校現場での裁量の範囲になると思います。

教育長： それでは、東京書籍と日本文教出版を推す意見が多かったと思いますので、この2社について、御意見をお願いします。

教育長： 東京書籍が良いと思います。実際に授業を行うときに、教員や子どもたちにとって、考える目あてが明確になっているということと、いじめと命の課題については、甲乙つけがたいのですが、何を学ぶのかということが、東京書籍の方が明確だったと思います。

委員： 日本文教出版が良いと思います。初めて教科になるということで、手取り足取りしてくれるところが、教員にとって良いと思います。LGBTについて触れている箇所が1ページありましたし、全体的な内容が、様々な角度から、多角的にとらえているように感じ、広がりのある学習ができるのではないかと思います。

委員： 日本文教出版が良いと思います。

委員： 東京書籍が良いと思います。落ち着いた感じもあり、1年間で学ぶことが、きれいに整理されているところが良いと思います。

委員： 日本文教出版は、教科書に書いてあることがノートに設問として記載してあって、生徒も分かりやすい感じになっていて、学習の深さに差がつきにくいのではないかと思います。

教 育 長： 小学校道德の採択では、ノートに縛られることなく、楽しく自由に学習するということで、ノートが無い方を選んだと記憶しています。中学校では、取り扱いは学校現場の裁量ということですが、試行ということでノートを使うということも良いかなと思います。

教 育 長： そろそろ最終決定をしたいと思います、御意見をお願いします。

委 員： 日本文教出版を推したいと思います。

委 員： 日本文教出版を授業で使用してもらって、教員の意見を聞いてみたいと思います。

委 員： 教員が同じような水準で授業をしてほしいと思いますので、日本文教出版が良いと思います。

教 育 長： 皆さんの意見が、日本文教出版が良いということになりましたので、中学校道德は日本文教出版を採択したいと思いますよろしくお願いします。

(全員異議なし)

教 育 長： それでは、中学校道德は日本文教出版を採択するということで決定します。

教 育 長： 事務局から何かありますか。

事 務 局： 一般図書について、説明します。特別支援学級で使用される図書について、採択する必要がありますが、これは、子どもの障害の程度に応じて採用する必要があることから、文科省、県、市が作成する一覧表から、供給可能な図書を学校と協議しながら、教育委員会会議で採択することとなります。

教 育 長： 他になにかありますか。

(全委員意見なし)

教 育 長： 以上をもちまして、本日の教育委員会会議を閉会とします。